

## 防災ニュース 第 2号



### あなたは どうする？ (2)

#### ～ 大地震シミュレーション ～

皆様こんにちは。災害の発生は自宅にいる時とは限りません。会社や学校、買い物や乗り物の中など、その時どこでどうしているかによって行動は変わります。

もし今、大地震が発生したら、あなたはどのように行動しますか？自分の身に置き換えて想像してみましょう。（出典：東京都発行「東京防災」）

#### 【 外出先に潜む危機 】

##### オフィス

キャスターを固定していないコピー機などは、あらぬ方向に移動します。体に当たると、大ケガの原因に。また、窓ガラスの破片などが頭を直撃すると、命を落とす危険もあります。キャビネットの転倒や飛散するガラスに注意しながら、物が「落ちてこない・倒れてこない・移動しない」場所に身を隠します。揺れが収まって避難する場合、余震や停電でエレベーターが停止する恐れがあるので、階段を使いましょう。また、高層ビルは長く揺れ、高層階に行くほど大きく揺れて立ってられないほどになります。すぐに安全な場所に避難して、揺れが収まるのを待ちます。



##### 繁華街

落下物から身を守り、ビルの倒壊にも注意しながら、公園など安全な場所へ。広いところに逃げる余裕がない場合は、耐震性の高い比較的新しい鉄筋コンクリートのビルに逃げ込みます。人混みで最も怖いのがパニックになることです。人の多い場所こそ、冷静な行動が求められます。

##### 学校

教室で身を守るには、飛散した窓ガラスの破片や照明器具の落下を避けるため、窓から離れ、机の下に隠れ、脚を持って揺れが収まるまで待機します。廊下ではすぐに窓から離れ、階段では転げ落ちないように手すりにつかまります。揺れが収まったら、先生の指示に従って行動しましょう。

##### 駅

落下物などから身を守り、ホームから転落しないよう近くの柱に移動。混雑して身動きが取れないときは、うずくまって揺れが収まるのを待ちます。地下鉄の場合は、いち早く地上に出ようとしてパニックになる危険も。ホームから線路には絶対に下りず、駅員や構内放送の指示に従います。



## 電車内

強い揺れを感知すると電車は緊急停車するため、人に衝突したり倒れる危険があります。座っていたらカバンなどで頭を保護し、立っているときは姿勢を低くして身を守る。満員電車では手すりやつり革にしっかりつかまり、脚を踏ん張って倒れないように。揺れが収まったら、乗務員の指示に従います。



## 自動車

急にスピードを落とすと衝突の危険あり。ハザードランプを点灯して徐々に減速。車は道路左側に止めてエンジンを切り、揺れが収まるまで待機します。可能であれば駐車場または広場へ。避難する際は、緊急車両通行時に車を移動できるように、キーやスマートキーは付けたままドアロックをせず、連絡先メモを残し、貴重品や車検証を持って車から離れます。

## 高速道路

他車などに衝突するのを避けるため、徐々にスピードを落として道路の左側に停車。通行止めになる可能性もあります。ラジオなどで状況を確認しましょう。

## トンネル

天井や壁面崩落の危険があるので、前方出口が見通せれば低速でトンネルを抜けます。長いトンネル内の場合は左側に寄せて停車し、キーを付けたままで非常口から脱出します。

## 百貨店・スーパー・コンビニ

百貨店・スーパーでは商品の散乱やショーケースの破損などに注意して、階段の踊り場や柱の近くへ。コンビニでは買い物カゴなどをかぶり、身を守ります。

## 劇場・ホール・スタジアム

大勢の人が集まる劇場・ホール・スタジアムなどの施設では、あわてて非常口や階段に駆け寄らず、館内放送や係員の指示に従います。



## 地下街

停電で多くの人がパニックになり、非常口に殺到すると負傷の危険があります。落ち着いて落下物から身を守り、柱や壁のそばで揺れが収まるのを待ちます。

## 空港

ガラスや天井部材などの落下に備えて頭部を保護し、係員の指示に従います。

(次号に続く)

以上